

第14回琵琶湖部会 現地視察(2002.6.4開催)結果報告

2002.6.5 庶務発信

開催日時：2002年6月4日(火) 9:30~18:00

場所：余呉町山村開発センター、丹生ダム建設予定地付近、ホテルプリオール

1 決定事項

河川管理者からの質問に対応するために、6月17日(月)13:30~16:30を第一候補に部会を開催する(6月20日午後を予備日)。

委員は河川管理者からの質問のうち自分が担当すべきと思われる箇所について回答を提出する。

2 現地視察 概要

ご意見をお伺いする会

余呉町にてご意見をお伺いする会が開催された。現地の自然に詳しい方から「高時川源流には手つかずの自然が残されているが、余呉高原スキー場の工事によって、これが破壊されるかもしれない」などのお話を、琵琶湖の水環境に詳しい方から「水に親しむということをお子たちに伝えていかなければならない」などのお話を伺った。

その後、丹生ダム計画による移転住民の方々から「ダム不要という議論もあるそうだが、ダム計画によって移転した私たちの気持ちを反映した議論をお願いしたい」といったご意見をお聴きした。

現地視察

丹生ダム計画により移転した鷺見集落跡、淀川の源の碑、余呉高原スキー場(濁流の原因となったスキー場内の視察の申し入れを行ったが断られ外部からの視察)を視察した。鷺見集落跡では元住民の方から当時の暮らしぶりについてお話を伺った。

地元の方等との意見交換

主に丹生ダム計画について、地元の方々等と意見交換を行った。地元の方から「ダムを核とした街づくりを進めている。ダム建設の促進をお願いしたい」「今となっては、ダム中止の議論よりも、ダムと自然との共生について議論した方がより建設的である」といった意見を頂いた。また、一般傍聴者から「ダム計画は地元の合意のもとで推進されている。このような委員会は迷惑である」との発言があった。

委員からは「ダムの是非については、琵琶湖に与えるダムの影響を検証してからでも遅くはないのではないか」「ダムに頼った地域でよいのか。他の方法もあるのではないか」等の意見があった。

委員による意見交換

中間とりまとめに対する河川管理者からの質問への対応等、今後の部会の進め方について意見交換が行われた。

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を、発言の詳細については「議事録」を参照下さい。